

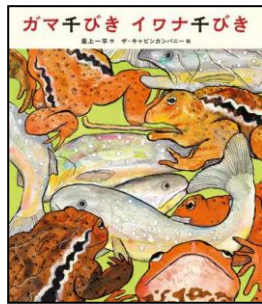
2026 なつやすみによんでみよう

ガマ千びきイワナ千びき

最上一平／文
ザ・キャビンカンパニー／絵
文溪堂

なんどもたきをのぼろうとしては、おちてしまうイワナがいました。ぜったいあきらめないイワナに、ガマは、あきれながらもうらやましくおもっていました。

ある日、ついにイワナは、たきをのぼっていきました。のこされたガマは、イワナのことばをおもいだして、じぶんも、たきの上をめざします。



きみは、ぼうけんか

シャフルザード・シャフルジェルディー／文
ガザル・ファトゥラヒー／絵
ブロンズ新社

わたしとおにいちやんは、せんそうでいえをこわされてしまいました。おにいちやんが「本にはね、どんな風や雨のなかでも、ぼうけんかはあるきつづけますってかい



てあるよ」といって、ぼうしと1さつの本をもって、ぼうけんにたびだちます。

いま、せんそうが起っているイランでかかれたえほんです。

つめたいこおりどんなかたち？

細島雅代／写真
岩崎書店

水がひえてかたまった「こおり」。さむいきせつの自然のなかでは、「しも」「つらら」「ひょう」「たけのこごおり」というような、ふしぎなかたちをしたこおりができています。

自然がつくりだす、いろいろなこおりのひみつをしょうかいします。



ウエズレーの国

ポール・フライシュマン／作
ケビン・ホークス／絵
あすなろ書房

みんなからすこしういていて、ともだちのいないウエズレーは、夏休みの自由研究に、自分だけの文明をつくることをおもいつきました。にわをたがやしてあたら



しい作物をそだて、服をつくり、時間やあそびを生みだし、ついに「ウエズレーこ語」までつくったのです。

書名	著者名	出版社
あめだま	ペク・ヒナ	ブロンズ新社
うみへ／やまへ	三浦太郎	偕成社
おいらプカプカ、 ラッタッタ島に帰ろかな	岩佐めぐみ	偕成社
かみなり	妹尾堅一郎	ポプラ社
きょうりゅうレントゲンびょういん	キョン・ヘウオン	パイインターナショナル
そらのさんぽ	石津ちひろ 荒井良二	岩波書店
チワンのにしき ―中国民話―	君島久子 赤羽末吉	ポプラ社
てんこうせいのはワニだった！	おのりえん	こぐま社
どうぶつたちのおひっこし ―どうやってはこぶのかな？―	平山暉彦	福音館書店
ともに生きる ―山のツキノワグマ―	前川貴行	あかね書房
ドングリ山のやまんばあさん	富安陽子	理論社
パインさんのごちやまぜかんぱん	レオナード・ケスラー	大日本図書
ひまわり	荒井真紀	金の星社
まよなかのせんろ	鎌田歩	アリス館
虫ガール ―ほんとうにあったおはなし―	ソフィア・スペンサー マーガレット・マクナマラ ケラスコエット	岩崎書店
山の学校キツネのとしよいいん	葦原かも	講談社

ひがしとしょかん

まいづるしみぞしり25
でんわ 62-0190

にしとしょかん

まいづるしえんまんじ100-8
でんわ 75-5406